

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例番号	患者ID	性別	年齢	投与量	薬剤	症状	経過	治療	副作用	備考
235	B-08031247	女性	15歳	投与量不明	メクロプラミド ドンペリドン	錐体外路障害	軽快	インフルエンザと診断。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用。本剤服用終了から3日目、錐体外路障害発現。意識レベル低下、もうろう状態、膝がガクガクし、他院受診。症状改善しないため当院に搬送。検査施行したがインフルエンザ脳症には該当しない。鎮静剤投与。本剤服用終了から4日目、錐体外路障害の軽快は軽快。		2008/4/1以降新規報告
236	B-03008278	男性	16歳	75mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン ツロプテロール 塩酸シプロヘプタジン	痙攣 意識変容状態	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の3時間後に足重感、4時間後に意識消失及び数分の痙攣。有害事象発現5分後に処置なしで回復、入院して投与中止、その後は有害事象を発現せず。	異常以外-219	
237	B-03010648	男性	16歳	150mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンプロキシール ノスカピン ベタメタゾン・d-マレイン酸クロル フェニラミン	意識変容状態	回復	インフルエンザA、B型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。夕食後75mgを服用。同日夜、3回続けて倒れ、意識喪失もあり。翌日昼、受診時は意識清明。	異常以外-220	
238	B-05021108	女性	16歳	150mg	マレイン酸フルフェナジン ロフラゼブ酸エチル 塩酸プロメタジン エチゾラム	幻覚(幻覚) 妄想(妄想)	軽快	3年前からうつ病発症。39℃の発熱により、リン酸オセルタミビル投与。翌日幻覚、妄想が発現したため入院。観念奔逸、幻覚妄想状態が5ヶ月続き軽快退院。以後3年間脳波測定に異常所見あり。現在もうつ状態で通院中。	異常以外-221	
239	B-07000113	男性	16歳	75mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。	異常以外-222	
240	B-07002390	男性	16歳	75 mg	鎮咳配合剤(1)	異常行動 浮動性めまい 転倒	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、転倒、頭部外傷、ふらつき発現。体温:38.4℃。服用2日目、異常行動発現。頭部外傷、4針結合。服用5日目、朝服用。その後は、本剤服用せず。	異常以外-223	
241	B-07014580	女性	16歳	150mg	鎮咳配合剤(1) テブレノン	自殺念慮	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用4日目、朝まで本剤服用。服用終了1日後、朝より解熱。服用終了5日後、ボーっとした表情で「このまま死んだら楽かな」お世話になりました」の様な発言。服用終了約16日後、自殺願望疑いは回復。	異常以外-224	
242	B-03009466	女性	17歳	75mg		ミオクローヌス	回復	発熱と頭痛から、自宅にあったリン酸オセルタミビル75mgを服用。4時間後、脱水予防のための点滴を受け、その30分後から不随意運動出現。熱が高くなったり緊張したりすると憎悪。インフルエンザA型と診断。事象発現3日目朝に不随意運動消失。	異常以外-225	
243	B-05023787	男性	17歳	75mg		意識変容状態 譫妄	回復	発熱(38.8℃)、頭痛、咳、咽頭痛にて確認判定後本剤処方。内服開始後、ふらつき自覚。翌日、服用しふらつきあり。深夜、体温37.8℃意識障害(海で自分が溺れている錯覚を感じる等)発現するが1時間程で消失。翌朝、本剤服用中止。	異常以外-226	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	別添付	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	前回のNo.
244	B-05025716	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン	意識変容状態	軽快	インフルエンザ治療(確定はしていない)のためリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用開始3日後発熱、夕方より意識障害(会話が通じずボーっとしていることが多い)発現。その後も意識障害継続。本剤5日間服用終了翌日に近医で意識障害指摘され入院。やや前頭葉に優位に広汎性の高振幅θ waveが頻発。炎症性脳炎、ウイルス性脳炎の可能性のためステロイド、アシクロビル投与開始。意識障害発現後13日後に軽快、脳波異常も消失。	異常以外-227
245	B-07000068	男性	17歳	75 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。 約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおおしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べずにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。	異常以外-228
246	B-07000217	男性	17歳	150 mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がボーとした自覚症状を訴えた。精神障害発現。翌日も同様。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。	異常以外-229
247	B-07000899	男性	17歳	75 mg	アセトアミノフェン 小青竜湯	激越	回復	発熱39.2°C。インフルエンザB型診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤75mg服用した夜に興奮(興奮してあばれた)発現。患者の家族からTELがあり、その後は本剤は服用していない。	異常以外-230
248	B-07002263	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン	統合失調症様 障害	不明	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル処方。 服用6日目、朝の服用にて、服用終了。そのころから、言動に総合性が無くなった。意識は清明、見当識ありだが、会話が混乱あり。服用終了2日後、急性混乱状態発現。神経学的には明らかな脱着症状なし、MRI、ルンバルを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を疑う。	異常以外-231
249	B-07003580	男性	17歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜間、異常行動(あばれる)発現。押さえつけていないといけないう状態であった。 投与開始2日目、何でも出来てしまいそうな気持ちだったらしい。異常行動回復。 投与開始6日目に本剤投与終了。	異常以外-232
250	B-07000064	男性	18歳	75 mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。	異常以外-233
251	B-02013958	女性	19歳		バルプロ酸ナトリウム	痙攣	回復	全般性てんかんの治療中(開始日:2002/02/18)。インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を5日間投与。投与終了後5日後に全身性けいれん、意識障害が発現。投薬により症状軽快。2日後には症状安定。	異常以外-234

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

年齢	性別	年齢	用量	薬剤	症状	経過	経過	経過	経過
252	B-04001616	男性	19歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸メホルミン グリメピリド	譫妄	回復	ブラダーウィリー症候群、糖尿病、中等度精神発達遅滞により治療中(開始日:不明)。発熱があり、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日間服用し(5日目の朝も服用したかもしれない)、症状は治まった。投与終了後3日目(2日目かもしれない)の夕食時より、興奮、意味不明の発言、言動まとまりなく意味不明の記号を書き続ける、手を洗い続ける等の事象が発見。翌日も言動まとまらず、「誰かが来る」と怖がる。事象発現4日目、混乱がつづいたため入院となる。他剤投薬により症状は軽減。事象発現から12日目に譫妄は回復し、退院した。	異常以外-235
253	B-05017979	女性	19歳	150mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩化リゾチーム 含嗽吸入原液ミチノ 塩酸ジフェニルピラリン インドメタシン	意識変容状態	後遺症	高熱、感冒症状にて受診しインフルエンザと判断される。治療的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与2日後、症状軽快にあるも微熱、感冒症状認めるため本剤服用。就寝し翌朝応答無く容体異常に気付き、救急搬送される。意識障害重篤。その約5ヶ月後意識が徐々に回復。現在、リハビリ入院中。意識ははっきりしており、記憶の一部に喪失あるも、応答可能であるが、下半身麻痺あり。	異常以外-236
254	B-07000226	男性	20歳	75 mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。内服して就寝。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。	異常以外-237
255	B-07000060	女性	21歳	150mg	プラノプロフェン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配 合剤	大発作痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。	異常以外-238
256	B-08026124	女性	21歳	150 mg		構語障害 振戦	回復 回復	全身倦怠感、関節痛等のインフルエンザ症状出現。インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方。服用2回目、呂律障害、振戦出現のため受診。脳MRI異常なし。本剤中止し補液による脱水管理のみとした。本剤服用終了から1日目、症状消失のため退院。	2008/4/1以降 新規報告
257	B-07001419	男性	22歳	150 mg		うつ病 自殺念慮	回復 回復	風邪症状にて受診し、インフルエンザB型の診断を受け、リン酸オセルタミビル4日分処方。2回目服用開始後くらいより、気持ちが落ちて自殺したくなる感じなどのうつ状態発現。本剤服用終了4日後、気持ちも落ち着いた。本剤服用終了7日後、再び気持ちが落ち込んだ。うつ状態で自殺念慮もあるため、スルピリド処方。本剤服用終了9日後、頭部MRIは正常。本剤服用終了11日後、脳波は前頭部に徐波あり。	異常以外-239
258	B-05000146	男性	23歳	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	B型インフルエンザが確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目朝の本剤服用前、意識消失発作(数分間)発現。救急受診時には意識回復したが、観察入院。夕刻、本剤を内服するが、有害事象発現せず。翌日退院。	異常以外-240
259	B-07003777	男性	23歳	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。翌朝、本剤服用後、意識障害、痙攣発現。一過性で10秒後に回復。	異常以外-241

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例番号	性別	年齢	一日用量	処方薬	副作用	経過	説明	副作用No.
260	B-01000445	女性	24歳	150mg	ロキソプロフェンナトリウム塩酸セフカペンピボキシル テブレノン リン酸ジメモルファン	味覚異常	回復	咽頭炎疑いにて、抗炎症剤・胃薬・抗菌剤処方。翌日インフルエンザ治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与終了後の翌日に味覚障害発現。障害程度は、味覚減退／味覚鈍麻(味覚がよわい)。貧血・舌炎は無し。その約1週間目頃より、味覚障害に対する治療無しで回復。	異常以外-242
261	B-06024996	女性	24歳	75mg		感情不安定 譫妄	回復	本剤投与開始後、呼吸がなくなり、入院し、せん妄状態、感情失禁発現。本剤、投与中止。投与中止後も約2時間毎にせん妄状態と覚醒状態を繰り返す。2日後、退院	異常以外-243
262	B-07000089	男性	25歳	150 mg		意識消失	軽快	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。	異常以外-244
263	B-05023106	女性	26歳	150mg	ドンペリドン アセトアミノフェン	脳炎	回復	嘔吐、発熱にて受診、インフルエンザ検査できないが、本剤他処方。翌朝、奇声等精神症状発現し、精神科入院。呼吸困難、意識混迷、脳炎として加療。半年後歩行可能となり、1年後後遺症なく退院。	異常以外-245
264	B-07022877	男性	26歳	75 mg	アセトアミノフェン	意識変容状態	回復	発熱、頭痛、全身の関節痛あり。インフルエンザA型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤75mg服用し、数時間就寝。夜、異常行動、言動が発現し、15分続く。救急要請。異常行動発現30分後、意識障害発現。救急が到着する頃には改善。経過観察のため入院。意識障害回復。	異常以外-246
265	B-07024140	男性	26歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム テブレノン 塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ レバミピド	顔面神経麻痺	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル5日間服用。服用終了3日後、右顔面神経麻痺発現。服用終了5日後、右耳痛出現。服用開始から約2ヵ月後、右顔面神経麻痺回復。	異常以外-247
266	B-07025547	男性	26歳	150mg		意識消失	回復	インフルエンザ様症状治療のため(診断するもウイルス検出されず)、リン酸オセルタミビル処方。服用4日目、車を運転中、意識消失発作発現。道路の左壁に乗り上げ、1回転し、道路に落下し意識回復した。夕方、意識消失発作回復。本剤服用中止。	異常以外-248
267	B-03001782	男性	27歳	150mg		味覚異常	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与。3日後、味覚異常発現。発現4日後、味覚異常軽快	異常以外-249
268	B-05000768	男性	27歳	150mg	カルマバゼピン バルプロ酸ナトリウム クロナゼパム	眼の脱臼(眼球上転) ジスキネジー (不随意運動 (四肢))	回復	元来強剛性脳性麻痺がある患者。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開始。翌日眼球上転、不随意運動(四肢)が発現。本剤の投与を中止し、翌日に回復した。	異常以外-250
269	B-03005261	女性	28歳	150mg	硫酸セフピロム	失神 心室性期外収縮	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3回目の2時間後に意識消失、入院。来院時、意識回復、血圧正常も、体温上昇及び心電図上期外収縮の頻発を認める。投与4回目においても、全身性脱力及びモニター上期外収縮を認める。3日目の服用中止、以後神経症状なし、その他の有害事象も回復。	異常以外-251

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	コード	性別	年齢	用量	併用薬	症状	経過	経過のコメント	副作用 No.
270	B-04000134	女性	28歳	150mg	塩酸テルビナフィン アセトアミノフェン	意識変容状態 汎血球減少症	軽快	爪白癬の治療のため塩酸テルビナフィンを服用中。また、毎年の検診で白血球減少、貧血との由。40°Cの高熱があり、診断キットでは(-)だったが、リン酸オセルタミビル150mg/日とカロナールを処方される。5日間服用後、翌朝から意識障害があり、受診したところ、汎血球減少があり、入院。搬入時は意識清明だったが、なぜ来たのかわからないとのこと。入院4日目、徐々に解熱、意識清明だが記憶、記憶力障害がのこる。脳波上徐波が目立つ。12日目、汎血球減少症、意識障害は軽快し、退院。言語リハビリへ通院。退院から1週間後のDLSTで、リン酸オセルタミビル及びアセトアミノフェン(-)、塩酸テルビナフィン(+/-)。	異常以外-252
271	B-05000873	女性	28歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) 鎮咳配合剤(1) 塩酸アンプロギソール	痙攣(痙攣) 失神(失神)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目の朝服用後1~2時間後腹痛、嘔吐、手足のしびれあり。意識消失、失神、痙攣発現。数分で軽快、特に処置せず。夜に本剤投与したのが何事もなかった。翌日受診するが特別な所見は認めず。	異常以外-253
272	B-06024913	男性	28歳	75 mg	アセトアミノフェン	感覚鈍麻 振戦 無力症	回復 回復 回復	4年前に本剤内服しているが問題なし。A型インフルエンザと診断、本剤投与2~3時間後、しびれ、手の振るえ、脱力感発現。翌日も回復しないため、他院入院し午後症状改善。	異常以外-254
273	B-07000133	男性	28歳	75 mg	クラリスロマイシン ロキソプロフェンナトリウム テブレノン	譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。投与中止8日後、意識もうろう、うわ言軽快。	異常以外-255
274	B-07000150	男性	28歳	150 mg	アセトアミノフェン スルピリン	異常行動	軽快	40°C以上の高熱続き、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤服用後、就寝。死神が襲ってくる、体がバラバラに裂かれる、殺される(色々な方法で)等の夢を見て、怖くて眠れない。眠ってもすぐ起きてしまう。服用2日目、朝、昨晚のことを家族に話す。また、暴力的な語気で家族にあたるなどする。異常言動発現。夕方、本剤服用。服用3日目、朝、解熱せず受診。受診時、怒っている様に思われた。患者の希望あり、入院。インフルエンザ脳症の疑いはなし。服用から6日目、異常言動軽快。本人は発熱している間のことほとんど覚えていない。	異常以外-256
275	B-07000151	男性	28歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル フロセミド 炭酸水素ナトリウム コハク酸メチルプレドニゾンナ トリウム 乾燥スルホ化人免疫グロブリン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	異常以外-257

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No	薬剤名	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過	備考	備考
276	B-07003016	女性	28歳	75 mg		意識変容状態	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。意識がなくなり倒れていた。 投与開始2日目、症状回復。	異常以外-258	
277	B-08028527	男性	28歳	75 mg		頭痛	回復	発熱あり。インフルエンザA型の診断でリン酸オセルタミビル処方。本剤服用後30分～1時間くらいしてから頭痛、嘔気、嘔吐発現。安静にしていた。 翌日症状改善しないため当院受診。安静のため入院。夕方点滴にて症状回復し食事摂取可能となり退院となった。本剤の服用中止。 本剤服用中止から3日目、インフルエンザの治癒と副作用の回復を確認。		2008/4/1以降新規報告
278	B-03010985	女性	29歳	150mg	ブロン錠12 カルボシステイン レバミピド アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目深夜、ブロン錠を服用後、耳鳴り、眩暈、ふるえが出現。4時間後、全身性痙攣が発現。眩暈、振戦、心房細動を認める。治療により2時間ほどで回復。	異常以外-259	
279	B-07000105	女性	29歳	75 mg	アセトアミノフェン 塩酸エピナスチン	意識消失 異常行動	回復 軽快	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。	異常以外-260	
280	B-07002383	男性	29歳	150mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣発現。	異常以外-261	
281	B-07001809	男性	30歳代	不明	アトルバスタチンカルシウム水和物	意識消失	不明	リン酸オセルタミビル服用。車の運転中に一瞬自分が何をしているのか分からないような状態に陥った。意識消失が発現。	異常以外-262	
282	B-07003701	男性	30歳代	不明		痙攣	不明	リン酸オセルタミビル服用後、意識消失、痙攣発現。	異常以外-263	
283	B-01000940	女性	30歳	150mg	不明	味覚異常	回復	B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目に味覚障害、嘔気、食欲不振発現し、本剤服用後3～4日間続き、対症療法の治療を行う。本症状発現3日後、味覚障害等の症状回復。	異常以外-264	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例番号	性別	年齢	投与量	投与薬	症状	経過	説明	備考	
284	B-05024101	男性	30歳	150mg		健忘	回復	インフルエンザの治療で余ったリン酸オセルタミビルについて、頭痛に対して服用し、約40分後に区間健忘発現。数日後に記憶が戻るが、その間の記憶が消失している。記憶が戻った後は特記すべき事象が見られなかった。	異常以外-265
285	B-03001385	女性	31歳	150mg	レボフロキサシン 塩酸アンブロキシール テブレノン ファモチジン	味覚異常	未回復	リン酸オセルタミビル150mg/日を5日間処方。本剤投与終了8日後に口腔内違和感、無味覚症発現し、未回復。	異常以外-266
286	B-02002740	女性	32歳	150mg	ホスホマイシンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム セフトキシムプロキセチル レバミピド	感覚鈍麻	不明	詳細不明	異常以外-267
287	B-03010917	女性	32歳	150mg	メキタジン 塩酸チアラミド リン酸コデイン	視野欠損	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目の夜、内服後に視野が狭くなり、気分不良となった。1~2時間後には回復。	異常以外-268
288	B-03011309	女性	32歳	75mg	トラネキサム酸 塩酸アンブロキシール 塩酸クロフェダノール アセトアミノフェン	浮動性めまい 悪心	未回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル75mg/日他を処方。夜から投与開始、翌朝の服薬までで投与中止。嘔気、ふらつきがあり動けない様子。1ヶ月弱がすぎても、浮動性めまい、嘔気は未回復。	異常以外-269
289	B-04027258	女性	32歳	300mg	なし	顔面神経麻痺	不明	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル300mg/日を投与開始。投与2日目頃より、左嘴角下垂、唾液流出、左顔面神経麻痺(重篤でないが軽微でもない)が発現。4日目、左眼瞼下垂と違和感。7日目、左顔面神経麻痺疑いと判断、その後の転帰不明。	異常以外-270
290	B-08025026	女性	32歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン	意識変容状態	回復	インフルエンザA型診断にて他院にてリン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、意識障害発現。突然倒れるように意識障害。家族によるとけいれんしていた。約1分間で回復。	2008/4/1以降 新規報告
291	B-08028877	男性	32歳	投与量 不明		意識消失	回復	当院受診。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。その後、気分不良発現。意識消失発現。	2008/4/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	用量	併用薬	症状	経過	説明	備考	備考
292	B-07000216	男性	33歳	75 mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。	異常以外-271	
293	B-07027780	男性	33歳	150 mg	ファモチジン アセトアミノフェン レバミピド ポピドンヨード	意識レベルの低下	不明	発熱、痛み、鼻水等あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。詳細は不明であるが、タミフルの脳内移行、中枢抑制作用が起きたと考えられ、中枢抑制作用発現。 服用2日目、体温40-38度。昼には体温34度まで下降。 本剤服用終了から1日目、本人来局し、「今朝、変な夢を見た。断片的だが内容は覚えていない。家族にはしゃべっていた」と言われた。今朝は本剤を飲んでいない。睡眠時の悪夢、寝言、異常低体温発現。同日中に回復。	異常以外-272	2008/4/1以降追加報告
294	B-05000676	男性	34歳	75mg	塩酸エピナスチン シクロフェナクナトリウム 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(2) アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン 耐性乳酸菌製剤(2)	意識消失(意識消失発作)	回復	季節性アレルギーの既往歴。38.3℃の発熱、咽頭痛、咳、軟便の自覚症状あるため、確定診断陰性であったがリン酸オセルタミビルを投与。翌朝服用1時間後に突然意識消失発作発現、5秒程度で全く後遺症残さずに回復するが、本人はその間の記憶は全くない。本剤の服用を中止し、受診するが全身状態全く異常なし。	異常以外-273	
295	B-02013961	女性	35歳	75mg	塩酸ベタキソロール オキサトミド エバスチン ビタミンB1・B6・B12配合剤 リンゴ酸カルシウム マレイン酸フルボキサミン アトルバスタチンカルシウム フマル酸第一鉄 セフジニル ドンペリドン 総合感冒薬 テブレノン 塩酸チラアミド	大発作痙攣	回復	慢性腎不全により透析を継続中であった。てんかん、痙攣の既往歴無し。インフルエンザを疑い、リン酸オセルタミビル75mgを服用。服用約1日後、一過性の足のしびれに続き、意識消失あり。約5時間後、てんかん大発作あり。1時間後、回復。服用10日後、脳波施行にてslow wave burst(徐波群発)1回あり。約2週間後にも同様の徐波群発を認める。	異常以外-274	
296	B-04026769	男性	35歳	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	不明	インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを服用。投与終了後2日目、意識消失が発現。現在転帰不明。	異常以外-275	



異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

297	B-01003997	男性	36歳	150mg	レボフロキサシン ピロミド酸 ヒベンズ酸チベジン フロモキシセフナトリウム セラペプターゼ アズレンスルホン酸ナトリウム	感覚鈍麻	軽快	39.4℃発熱あり、インフルエンザと最近の混合感染疑いリン酸オセルタミビル投与開始(確定診断は行ってない)。投与2日目に両手のしびれ、全身に発赤、かゆみが出現。本剤及び併用薬の投与中止。抗ヒスタミン剤投与開始。手足のしびれ等発症3日後両手のしびれ軽快し手根管症候群と確定診断。発疹も消失。	異常以外-276
298	B-05018239	女性	36歳	150mg	インドメタシン アザチオプリン プレドニゾロン シクロスポリン ポビドンヨード ベンズプロマロン ファモチジン ラクトミン タンニン酸アルブミン メトクロプラミド イソプロビルウノプロストン リスベリドン メコバラミン メフェナム酸	精神症状(精神神経症状(不穏、眼右のちらつき、手足のしびれ)) 急性腎不全(急性腎不全) 下痢(下痢) 脱水(脱水)	軽快	腎不全の既往あり。発熱、寒気有リインフルエンザと診断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用翌日に水様性下痢が出現。本剤服用2日後、急性腎不全、下痢、脱水、軽度の不安感が発現。本剤服用5日後、つじつまの合わないことを話しパニック障害様症状あり、本剤服用7日後、不安感消失。約4ヶ月後、急性腎不全、下痢、脱水、精神症状回復。さらに4ヶ月後、自覚的にほぼ完全に回復。	異常以外-277
299	B-06026181	女性	36歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。翌日、本剤中止、入院。	異常以外-278
300	B-04008325	女性	37歳	150mg	セフトレキシム セフトレキシム ロキソプロフェンナトリウム サリチル酸ナトリウム・カフェイン配合剤 リン酸クリンダマイシン アジスロマイシン水和物	精神障害 悪寒 悪寒 血中クレアチン ホスホキナーゼ増加	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレキシム他を処方。4日目、39℃に熱が上がり、肺炎出現のため、セフトレキシムをアジスロマイシン水和物に変更受診。帰宅後アジスロマイシン水和物を内服後、40℃の高熱とパニックが出現。病院でも奇声を発したのちうら回っているため入院。翌日パニックはおさまったが、炎症、肝障害が認められたが、本人の希望で退院。	異常以外-279
301	B-05007134	女性	37歳	150mg	アセトアミノフェン レバミピド ジプロピリン・ジヒドロコデイン配合剤 塩化リゾチーム	頭痛(頭痛) 嘔吐(嘔吐) 悪心(嘔気)	回復	発熱有り受診し、インフルエンザと診断される。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。翌日は通常通り服用。その翌日、朝本剤投与した後、解熱するも、頭痛、嘔気、嘔吐認め入院となり、点滴施行。5日後、症状軽快。	異常以外-280
302	B-06000102	女性	37歳	75mg	トラネキサム酸 カルボシステイン	痙攣 意識変容状態	軽快 軽快	A型インフルエンザで発熱(38.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に全身痙攣及び意識障害が見られ、十数分で回復した。熱性痙攣、てんかん等の既往歴はない。	異常以外-281

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	別添番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	症状	経過	説明	別添No.
303	B-07024019	女性	37歳	150 mg	アセトアミノフェン	幻聴 幻覚	回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ヒーターのモーター音が人の歌声の様に聞こえる。幻聴発現。服用3日目、午後、寝ている時、誰かが部屋に入ってきている気配がして、一回開眼して周囲を見ると特に人影はなかった。眼を閉じているとベッド周囲に気配を感じ、左横に来て布団と敷布の間に手の様なものが侵入してきた。首付近に手が来て片手で首を絞める様に感じた。しばらく息を止めていたが、息が簡単にできたので目を開けてみると何もなかった。幻覚発現。	異常以外-282
304	B-02011509	女性	38歳	75mg		痙攣	不明	インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。帰宅後、本剤75mgを服用したところ、痙攣が発現し、病院に搬送されたがその後の詳細不明。	異常以外-283
305	B-04026632	女性	38歳	150mg	クラリスロマイシン 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸 トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	味覚異常	回復	発熱のため、リン酸オセルタミビル150mg/日、メフェナム酸及び非ピリン系感冒剤(4)を投与。投与開始後3日目、キットにてB型インフルエンザと確定診断、クラリスロマイシン他を追加処方(リン酸オセルタミビルは継続投与)。4日目、味覚障害(重篤でないが軽微でもない)が発現。5日目、頭痛、めまい及び発熱がみられたため、本剤投与中止。10日目にベタヒステンメシル酸塩等による処置を行った結果、11日目に回復。	異常以外-284
306	B-04026778	男性	38歳	150mg	塩酸エブラジノン	頭痛	回復	B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後3日目、頭痛がひどくなるとの訴えから本剤投与中止。痛みが強いため、入院。その後、回復。	異常以外-285
307	B-07000204	女性	38歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) トリアソラム	自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。	異常以外-286
308	B-07003014	女性	38歳	150 mg	コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム プロポフォール パニペナム・ベタミブロン 乾燥スルホ化人免疫グロブリン 塩酸ドパミン フェニトインナトリウム 濃グリセリン・果糖 塩酸ラニチジン ヘパリンナトリウム オメプラゾール	異常行動 意識変容状態	回復 回復	40°Cの発熱で受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。投与開始2日目、夜、熱は下がってきたものの、意味不明な発言、奇声を上げる。すぐ受診するが、尿失禁などあり。1時間後、精査困難のため、救命救急に搬送。この時、MRIによる異常所見はなし。インフルエンザ脳症を疑い、入院し、ステロイドパルス療法施行。投与開始3日目、異常行動、意識障害は回復傾向あり。投与開始4日目、異常行動、意識障害回復。投与開始5日目、本剤投与終了。	異常以外-287
309	B-07001284	男性	39歳	150mg		意識変容状態 てんかん重積状態	死亡 死亡	インフルエンザ陰性であったが、リン酸オセルタミビル服用開始。服用4日目、具合が悪く、病院へかかろうとして車を運転し、その途中で交通事故となる。救急車が到着した時にけいれんを認めた。搬送時もインフルエンザ陰性であった。	異常以外-288 死亡-32
310	B-07001357	女性	39歳	150 mg	トラネキサム酸 カルボシステイン 麻黄湯	幻聴	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。同日夜、首のかゆみ、幻聴(話し声、戸の開く音、スリッパの音)、殺されるようなこわい夢をずっとみていた。エチゾラム投与により回復。	異常以外-289

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	患者ID	性別	年齢	投与量	薬剤	症状	経過	経過	備考	備考
311	B-08031015	女性	39歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン ロキソプロフェンナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- -グルタミン	激越 譫妄	回復 回復	38.8℃の発熱あり。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル、感冒剤等処方。 子がインフルエンザA型にて本剤を処方されていた。 服用2日目、夕方全身の痛み。その後、異常興奮、せん妄発現。興奮し、両手のしびれがでたため、来院、入院。入院後、半日程で軽快。 本剤服用終了から2日目、退院。		2008/4/1以降 新規報告
312	B-06001134	男性	40歳代	不明		失神	不明	詳細不明(担当医の協力が得られなかった。)	異常以外-290	
313	B-04025544	女性	40歳	150mg	アセトアミノフェン テブレン	眼振	未回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2回目の翌日に眼振発現、良性発作性頭位眩暈症と診断。その後継続加療中。	異常以外-291	
314	B-05021110	女性	40歳	150mg	ゾニサミド カルバマゼピン フェニトイン アセトアミノフェン	自殺念慮(精神 症状(幻覚、 希死念慮)) 幻覚(精神症 状(幻覚、希死 念慮))	軽快	てんかんの既往ありのためゾニサミドを継続投与。今回発熱、てんかん発作で入院し、翌日インフルエンザA型診断確定、リン酸オセルタミビル投与開始。その2日後、精神症状(幻覚、希死念慮)発現。症状最終発現日は不明だが、発現2日後には希死念慮の訴えは消失していたと考えている。その後2ヶ月間精神症状の再燃はない。	異常以外-292	
315	B-07000092	男性	40歳	75 mg	ベラプロストナトリウム 塩酸セベラマー メチルドパ ベシル酸アムロジピン バルサルタン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウ ム 沈降炭酸カルシウム クロナゼパム メコパラミン センノシド	異常行動	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。 透析患者のため、本剤75mgを1回のみ投与する予定が、誤って1日1回を5日間投与してしまっ。5日間服用後、夜間透析を受けており、睡眠中だったが、急に起きて透析の針を自分で抜いてまた刺したという異常行動(自己抜刺)をおこした。同日症状回復。	異常以外-293	
316	B-07000136	女性	40歳	75 mg	アセトアミノフェン	意識変容状態	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。	異常以外-294	